

# 令和3年度 特定非営利活動法人全国こども福祉センター 事業報告書

## 1 事業目的

特定非営利活動法人全国こども福祉センター（以下、本法人）は、子ども・若者に対して声かけ、対話交流、募金活動などアウトリーチ活動を実施し、仲間づくりや人間関係づくり、社会活動への参加、各々の福祉（幸福）の追求と尊重、その実現のために、ささえあう。

【定款】「次代を担う子ども達や大人も対象にした教育・文化活動や交流事業を組織的に行い、以って地域力の底上げや社会福祉の増進に寄与する」

## 2 事業の実施に関する事項

本法人は定款の目的（本法人の定款第5条第1項）のもと、特定非営利活動に係る事業（1）について対面、オンラインの方法で実施した。

### （1）特定非営利活動に係る事業

- ①街頭パトロール・相談事業
- ②居場所づくり事業
- ③まちづくり事業
- ④シェルター・自立支援事業
- ⑤その他非行防止に関する事業

便宜上、上記の事業名称を使用し、①～⑤と事業別に分けているが、各事業内容が独立しているわけではなく、密接に関連している。事業ごとに独立している参加者やスタッフも存在せず、按分するのも経理面においても妥当ではないことから、平成27年度より事業別に分けず、事業報告、会計を統一している。

【事業の説明】 繁華街やインターネット、SNS上でSOSを受け止める場を提供していること（①）、声かけ（①）や対話・交流（①）を行うことで、その場（空間）自体が子ども・若者と路上生活者の交流拠点、すなわち居場所（②）をつくり出している。活動場所は街中であり、人がつながる場や集う場を公開、提供することで、“まちづくり”（③）にも貢献しているし、社会参加や活動の機会を提供（④）していること、にもなっている。また家族や学校からの一時避難の場としての機能・役割も担っている（④）。コロナ禍（2020年～）は、公的機関や他のNPOが閉鎖し、とくにシェルターとしての機能を強く発揮している。

## 3 事業に関する評価方法・成果

本法人は、特定課題の解決を第一の目的としていない。何が子ども本人の福祉（幸福）、利益につながっているのか、各自で異なるため、他者が短期間に一律で評価を行うことは適さない。法人は参加者数を評価の対象とするが、個人の評価を最大限尊重することとする。

### 1) 評価の基準と方法

子ども・若者の「参加者の数」は、実際の子どもの若者本人の行動、選択に関する客観的な事実といえることから、活動回数や「参加者の数」を評価（成果）基準とする。活動時は参加者名簿を記録しているため、参加人数を集計し、それを評価の参考としたい。

アプローチの手法		回数（昨年度）		参加者数（昨年度）	
1. アウトリーチ活動 （対面によるアプローチ）	繁華街での 声かけ	42	(35)	372	(358)
	スポーツ	3	(8)	60	(119)
	イベント	2	(3)	22	(39)
	準備 その他	45 15	 (9)	90 106	 (45)
2. オンラインアウトリーチ（zoom）		99	(271)	736	(3,319)
合計		161	(326)	1,386	(3,880)
*うち10代の参加者数				440	

\*2020年度から感染対策を優先し、オンライン活動を行っている。

（単位：千円）

収入 NPO 収益（寄付金 89.4 千円・募金 20.2 千円・助成金 0 円・雑収益 20.7 千円）

収入合計 133 万 6 千円（昨年度）

支出 事業費合計 129.9 千円 管理費合計 30.0 千円 当期正味財産増減額+0.6 千円

※ 詳細別紙（2021 年度決算報告書）

## 活動メンバーによる事業報告

数字では表現できない成果（事業の質的評価）として、活動報告に協力してくれたメンバーの活動報告を挙げる。本活動は支援や救済を目的としておらず、互いのケア、交流を目的としている。原則、アウトリーチによって出会ったメンバー（ボランティア）の自由意志によって行われていることから、メンバー各々の目的や成果を尊重したいと考えている。\*基本的には、誤字脱字のみチェックし、内容の編集は行っていない。

### 加藤さやか

私は、去年の 6 月に初めてこの活動に参加しました。もうすぐ 10 か月になります。大学で福祉心理学を専攻しており、ゼミの先生の紹介で、全国子ども福祉センターを知りました。活動では、声かけや活動に参加してくれた子たちとの交流とメンバー同士が交流をしやすい雰囲気を作ることに力を入れました。初めて活動に参加してくれたメンバーと積極的に交流をして、次も参加したいと思ってもらえるような時間になるように意識しています。声掛けは、今でも失敗することの方が多いですが、同世代の人と出会える場所があること、対話をすることに価値があると感じて活動を続けています。活動経歴はまだ浅いですが、年齢でいえば年上のメンバーです。中高生の子が楽しいと思える団体になるように、活動と交流に積極的に参加できるよう頑張ります。

### 山本義晶

（企画について）1 月に開催されたバドミントンに参加して、様々な人と交流できた。スポーツを通すことで誰でも気軽にできることを改めて学んだ。4 月にバドミントン交流会を企画し、約 20 名が参加。様々な人と交流でき、声かけ活動への参加にもつながった。参加者から好評を得られ、交流会開催の甲斐があ

ったと心の底から思えた。自分が思っているよりスポーツの力は様々な人との交流の力になってくれることを改めて知った。

(活動について) 活動参加から半年が経過して自分自身の変化に驚かされることが多くなりました。初対面での会話、様々な人との交流を通して、自分の価値観が広まっていき、お金には変えられない経験ができています。普段の会話でも成長を感じることが多くなりました。最初の頃は、着ぐるみを着ることもできないぐらい恥ずかしく、段々と話しかけにいけるようになりました。過去の自分では考えられないことであるため、驚いています。声かけも回数を重ねるごとに増え、現在は一回の活動で15人以上には必ず声かけをしています。

声をかけても、軽くあしらわれることが多く、立ち止まって話を聞いてくれたり興味を持ってくれたりする人が少ないです。それでも、活動参加に繋がったり、もう一度来てくれたり、差し入れしてくれたり、相談も増えて、心が温まり活動のやりがいを感じるようになりました。声かけで凹んで帰って来ると活動メンバーが慰めてくれたり、声かけを助けてくれたりすることも安心感や頑張る力になっています。

#### 伊藤光

現場で活動を行っているメンバーと共に声だしや、HPやボランティアの募集サイトからの参加希望者へのメール対応を行いました。

自分が対応した参加希望者の方が何回も活動に参加してくれている姿をみると、関わっていてよかったと実感しました。自分が活動をやっている最もよかったと感じたことは、職場から団体への実績を認められ活動の応援をしてもらえたことです。誰かに認めてもらえることでより活動への参加意欲がわき、これからも関わっていきたいと感じました。

#### 河島桃花

私は3月より活動に参加を始めました。

初めて参加したときは、募金箱を持ってメンバーの見様見真似で声出しをしました。

実際、どうい子達に声をかければいいのか分からず途方に暮れそうになりました。しかし、他の参加者さんは、子どもたちを見つけるや否や、積極的に声をかけに行き団体説明等をしていました。そこで私は変なレッテルを貼らずに、子どもたちに純粹に、クラスメイトに話しかけるようにアプローチするのが、全国こども福祉センターのアウトリーチの基本なのだと感じました。2回目の参加時は私が描いたイラストに興味を惹かれて、どんな活動なのか聞いてくる方がいました。

募金や福祉アウトリーチ活動の敷居を低くし、一般人にも分かりやすくするためには、着ぐるみと同じようにイラストも効果的なのかなと感じました。これからも活動を頑張っていきたいと思います。

#### ゆい

- ・人見知りを克服して手を振りかえしてくれた人に声をかけられるようになった。
- ・団体に新しい案を3つ出した。
- ・性格が明るくなった。
- ・自分の考えたこと、思ったことを人に伝えられるようになった。

#### しろし

活動では、手を振り返してくれた子たちにティッシュを渡すことができ嬉しくなったり、声をかけられて「ひきこもりの支援は俺にはできるけどお前にはできない」とか言われて悲しくなったり...心がたくさん揺れ動いて、ちょびっと成長できた気がします。そしてなによりこの活動を続けてきたみんなの

こと、本当に凄いなって思いました。

はるてい

経験したことを自分自身の言葉で相手に伝える難しさを実感した。アウトリーチって言葉自体は知られてるけど、意味自体までは知らない人が案外多かった。福祉とは関係のない学部に所属する大学生と、支援方法を模索することによって、自分たちとは違った視点を持つ生徒さん方から当時の団体への活動に対する意見やヒントを頂いた。

まお

活動準備に 51 回中 50 回参加して、事務所の鍵を開けて活動環境を整えました。上半期はなかなか声掛けに行けなかったけど、メンバーと一緒に 1 回は行けるようにしました。2 回ほど取材を受けて自分のことや団体のことを話しました。

#### 4 組織体制

正会員（サポーター会員含む）：24 名

理事：6 名 監事：1 名 事務局：2 名

ボランティア（グループライン所属メンバーより）：120 名

#### 5 会議に関する事項

【総会】 通常総会 2021 年 5 月 29 日 19:00~21:00

正会員 20 名 うち出席 15 名（委任含む）、計 15 名

第 1 号議案 2020 年度事業報告と 2020 年度決算収支報告について

第 2 号議案 2020 年度事業監査結果と 2020 年度会計監査報告結果について

第 3 号議案 2021 年度事業計画（案）と 2021 年度予算（案）について

会場：名古屋市中村区則武 1-16-8-405（事務所）& オンライン ZOOM

【理事会】 第一回理事会 2021 年 5 月 23 日 19:00~21:00

理事 6 名（うち出席 4 名）米蔵雄大・荒井和樹・伊藤正明・伊藤加奈子

委任（富田正美・長谷川真人）

2. 場所 オンライン zoom 配信場所（名古屋市中村区則武 1-16-8-405 事務所）

3. 出席者 理事 6 名（出席理事 6 名）、監事 1 名 理事総数 6 名

出席理事（伊藤加奈子、富田正美、清水ゆり子、岸田紀子、平澤恵美、荒井和樹）

・監事 1 名（清水真一）

#### 4. 審議事項

第 1 号議案 2020 年度事業報告と 2020 年度決算収支報告について

第 2 号議案 2020 年度事業監査結果と 2020 年度会計監査報告結果について

第 3 号議案 2021 年度事業計画（案）と 2021 年度予算（案）について